

[八丈島特産園芸作物における生産振興技術対策]

特産園芸作物の病虫害防除対策

～八丈島の主要農産物に発生する害虫の発生状況（2016年～2018年）～

松浦里江・加藤綾奈*・鶴沢玲子・黒川康介^a・中野真弓*^b・小糸優華・下野大輝
(島しょセ八丈・*八丈支庁)^a元園芸技術科・^b現南多摩普セ

【要約】 主要農産物に発生する害虫は、切葉類で6～8種、レモンで8種に対し、アシタバで15種と多い。カイガラムシ類、マイマイ類はいずれの作物でもほぼ通年で発生が確認され、注意が必要である。

【目的】

八丈島の主要農産物に発生する害虫の発生状況を調査し、防除における基礎資料とする。

【方法】

2016年4月～2018年11月、八丈島島内に定点を設け、月1回、害虫の発生状況を調査した。定点はフェニックス・ロベレニー2地点（ネットハウス・露地）、レザーファン2地点（施設）、ルスカス1～2地点（施設）、キキョウラン1地点（施設）、アシタバ2地点（露地）、レモン1地点（施設）とした。発生程度は平年並みを基準として3段階で評価した。

【成果の概要】

1. フェニックス・ロベレニー：6種を確認した（以下、表1）。このうちチャハマキやバッタ類の発生が多く、特にネットハウス内で被害が大きい傾向にあった。バッタ類とマイマイ類は通年に近い発生が認められた。
2. レザーファン：6種を確認した。発生程度はいずれも平年並みか平年より少ない傾向にあった。カイガラムシ類はナガオコナカイガラムシで、5～3月までとほぼ通年で確認されたが、全体的に害虫による被害はほぼ確認されなかった。
3. ルスカス：8種を確認した。発生程度はいずれも平年並みか平年より少ない傾向にあった。カイガラムシ類は出荷する枝にはほとんど確認されないが、防除を行わない圃場では下葉に多く確認された。
4. キキョウラン：7種を確認した。このうちハダニ類の発生が多い傾向にあり、5～2月とほぼ通年で発生が確認された。多発生時にはハダニ類の発生により葉のかすれ等の品質低下が認められた。
5. アシタバ：15種と多くの種類の害虫を確認した（表2）。このうち発生の多い種は、5月のヨトウムシ類とネキリムシ類、11～7月のミドリヒメヨコバイ、ほぼ通年のマイマイ類であり、被害も大きかった。
6. レモン：8種を確認した（表3）。このうちアゲハ類とハモグリガ類の発生が多く、被害も大きかった。カイガラムシ類、マイマイ類、ハダニ類は、発生程度は平年並みからやや少なかったが、ほぼ通年で発生がみられ、果実への被害も大きかった。

【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 適期防除が行われず、被害が確認される事例が多いため、薬剤選択を検討した上で防除法の提案が必要である。
2. 発生状況は気象などの影響を受けるため、今後も引き続き調査が必要である。

表1 主要な切葉で発生を確認した害虫

作物	分類	種類	発生時期	発生程度 ^a	備考
フェニックス・ロベレニー	チョウ目	クワゴマダラヒトリ	4月	I-II	
		ハマキムシ類	4-7月	II-III	チャハマキ
	コウチュウ目	コガネムシ類	7月	I	アオドウガネ
	カメムシ目	カイガラムシ類	1-2,6,11月	I-II	シロカイガラムシ類(6月), コナカイガラムシ類(1-2月), フクロカイガラムシ類(11月)
	バッタ目	バッタ類	4,6-12月	I-III	オンブバッタ, タイワンクツワムシ他
レザーフアン	その他	マイマイ類	4-5,7,10-11月	I-II	
	チョウ目	ヨトウムシ類	10月	I	食害痕のみ
	コウチュウ目	コガネムシ類	7月	II	アオドウガネ
	カメムシ目	アオバハゴロモ	6月	II	新芽(幼虫)
	その他	カイガラムシ類	通年	I-II	コナカイガラムシ類
ルスカス	チョウ目	マイマイ類	4,12月	I-II	
		ホコリダニ類	12月	I	
		クワゴマダラヒトリ	4,11月	II	
	コウチュウ目	マイマイガ	5-6月	II	
		コガネムシ類	8月	I	リュウキュウツヤハナムグリ
	カメムシ目	アブラムシ類	5-7月	I-II	
		カイガラムシ類	通年	II	コナカイガラムシ類, シロカイガラムシ類(7,9月)
	アザミウマ目	アザミウマ類	6-9月	II	
	バッタ目	バッタ類	7-9月	I	
	その他	マイマイ類	3-5,7,9-10,12-1月	I-II	
キキョウラン	チョウ目	ヨトウムシ類	5月	III	ハスモンヨトウ
	コウチュウ目	コガネムシ類	7月	II	
	カメムシ目	カイガラムシ類	9,11-5月	I-II	シロカイガラムシ類
	バッタ目	バッタ類	7-9月	I-II	
	その他	ナメクジ類	5月	II	
		マイマイ類	4-6,8,11月	I-II	
	ハダニ類	4-2月	I-III		

a) 3段階評価: I (平年より少ない), II (平年並み), III (平年より多い)

表2 アシタバで発生を確認した害虫

分類	種類	発生時期	発生程度 ^a	備考
チョウ目	クワゴマダラヒトリ	11-4月	I-II	
	ウドノメイガ	6-8月	II	
	ヨトウムシ類	5月	III	ハスモンヨトウ
	ネキリムシ類	5月	III	
ハエ目	ハモグリバエ類	4-5,11-12月	I-II	
コウチュウ目	コガネムシ類	7-8月	II	アオドウガネ, リュウキュウツヤハナムグリ
	ヤサイゾウムシ	2月	I	
	虫害(不明)	7月	II	ハムシによる食害の疑い
カメムシ目	アブラムシ類	12-3,5月	I-II	ハナウドチビクダアブラムシ(12-3月), モモアカアブラムシ(5月)
	カイガラムシ類	1,6,9月	II	防風樹で発生
	アオバハゴロモ	6-7月	I-II	幼虫
	ヒメヨコバイ類	11-7月	I-III	ミドリヒメヨコバイ
バッタ目	バッタ類	5-8月	I-II	タイワンクツワムシ他
その他	マイマイ類	3-6,9-12月	I-III	
	ハダニ類	8月	III	

a) 3段階評価: I (平年より少ない), II (平年並み), III (平年より多い)

表3 レモンで発生を確認した害虫

分類	種類	発生時期	発生程度 ^a	備考
チョウ目	アゲハ類	4,6-9月	I-III	ナミアゲハ
	ハモグリガ類	5-7,9-10月	II-III	
	ハマキガ類	7月	II	
	クワゴマダラヒトリ	4月	I	
カメムシ目	アブラムシ類	4,7月	II	花に寄生(4月), コミカンアブラムシ(7月)
	カイガラムシ類	5-3月	I-II	コナカイガラムシ類(6-3月), カタカイガラムシ類(8-9月), マルカイガラムシ類(8,10-1月), ツノロウムシ(10, 1-2, 7月)
その他	マイマイ類	2-11月	I-II	
	ハダニ類	7-8,10,12月	I-II	

a) 3段階評価: I (平年より少ない), II (平年並み), III (平年より多い)